

長 薬 同 窓 会 報

Alumni Association

School of Pharmaceutical Sciences

Nagasaki University

第 49 号 (2009年)

目 次

同窓会長挨拶	伊豫屋偉夫（昭41）	1	
薬学部長挨拶	畑山 範	2	
平成21年度長薬同窓会定期総会・講演会・懇親会		3	
支部だより		5	
関東支部，近畿支部，山陰支部，北九州支部，福岡支部浦陵会，大分支部，佐賀支部，熊本支部， 長崎県北支部，長崎県央支部，長崎支部ぐびる会			
クラス会および近況だより		16	
黒田直敬（特），田崎和之（昭22），今上 亨（昭25），中倉敬昭（昭26），服部俊明（昭28）， 郷野美智子（昭30），真海延子（昭31），白石葉子（昭32），下村明美（昭34），富安一夫（昭34）， 白松一良（昭36），粟屋順子（昭36），福島祐作（昭37），松村祐子（昭40），伊豫屋偉夫（昭41）， 井田節子（昭41），藤本正治（昭42），富永義則（昭44），大西裕子（昭46），橋本次男（昭50）， 大木 豊（昭52），中嶋幹郎（昭57），中嶋幹郎（昭57），金子富美（昭59），杉浦志保（平3）， 松永隼人（平12），杉原住香（平13），藤本勝好（平15），古賀健太郎（平20），上村理紗（平20）， 川崎亮平（学部3年），伊藤 潔（昭59）			
クラブOB会だより		49	
野球部，硬式庭球部，軟式庭球部			
庶務報告		53	
物故者氏名，学内記事			53
長薬同窓会役員名簿		55	
長薬同窓会支部一覧		56	
会計報告（平成20年度決算，平成21年度予算，監査報告）		57	
図書・ビデオ・DVD等のご紹介		60	
同窓会事務局だより		表Ⅲ	
編集後記		表Ⅲ	



ご挨拶

会 長 **伊豫屋 偉夫** (昭41)

今年度の総会は関東支部の皆さんのご協力により、東京市ケ谷で多くの会員の参加を得て開催することができました。厚くお礼申し上げます。また、この総会の開催に併せ、東京でクラス会を開催していただきました学年の皆様にも心からお礼申し上げます。

今回は谷関東支部長の発案で特別講演を取り入れ、総会の前に現在 NHK 会長で前アサヒビール会長、前長崎大学経済学部同窓会長の福地茂雄氏に「変える勇気と変えない勇気」の演題でご講演いただきました。

さて、昨年度は長薬同窓会にとりまして特別な年度になりました。昭和26年卒の下村 脩博士がノーベル化学賞を受賞され、また、昭和46年卒の中島憲一郎教授が長崎大学副学長に就任され、さらに長薬同窓会長、薬学部長を勤められました昭和25年卒の古川 淳名誉教授が秋の叙勲で瑞宝中綬章を受賞されました。

特に、日本の西の端の国立大学の長崎大学薬学部の卒業生からノーベル賞受賞者が出たということは、後輩としまして大変うれしく、誇らしく、長崎では薬学部の評価が急上昇しました。今後、長薬同窓会会員の中から第二、第三の下村博士が出現しますことを祈念しています。

ただ、今年3月に下村 脩博士に長崎で特別講演をしていただきましたが、大学、長崎県、佐世保市の共催だったため、長薬同窓会への割り当てが少なく、多くの会員に聴講を呼びかけることが出来ずすみませんでした。なお、当日の講演を収録したDVDを大学から購入し各支部に配布していますので、機会を作って皆さんで見たいと思います。

また、長崎大学では各学部の同窓会の集合体として全学同窓会を設立していますが、今年度から長崎大学文教町キャンパスでホームカミングデーを開催し、大学の近況報告、講演会、各学部を訪問しての現在の教育・研究の姿の見学、その後懇親会を開催することになりました。今年度は大学祭に併せて11月21日(土)14時から開催され、他の学部の同窓生とも交流を深めていただきました。

現在、長薬同窓会の会員は約4300名で、全国各地でいろいろな職業に従事し、国民の健康の増進と環境の保全等に日々活躍しておられます。長薬同窓会は会員皆様の会費と参加によって成り立っています。しかし、薬学部6年制の導入により、平成22年3月から2年間は卒業生が半数の40名に減り、同窓会会員も微増になります。会費の納入にもご理解とご協力をよろしく願います。

長薬同窓会のホームページも伊藤 潔会計幹事(昭59)の全面的なご協力により、同窓会に関する最新の情報を提供していますので、是非「長薬同窓会」でアクセスしてみてください。また、各地での取り組みやクラス会の動向等もE-mailで事務局まで情報提供をお願いします。

平成22年度の総会は12年振りに復活しました佐賀支部のお世話で、6月26日(土)にホテルニューオータニ佐賀で開催します。クラス会を兼ねて佐賀市にご集合をお願いします。

長薬同窓会を核にして、同窓生を取り巻く大きな環境の変化に的確に対応し、同窓生が各々の立場で大いに活躍し発展していかれまことを祈念してご挨拶といたします。



長薬同窓会の皆様へ

長崎大学薬学部長 畑山 範

長薬同窓会の皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

平成19年4月に学部長の職を拝命して2年半があっという間に過ぎました。この4月、1期でお役ご免かなと思っておりましたところ、思いもかけず学部長をもう1期務めることになりました。あらためて、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

時間が過ぎるのは実に速く、昨年10月8日の「下村 脩先生ノーベル賞受賞」の大変嬉しい一報からもう1年が過ぎました。先日、下村先生ご夫妻にお目に掛かる機会がありましたが、超多忙にもかかわらず、ご健勝のご様子で、安心いたしました。お陰様で、下村 脩博士顕彰記念展示室には、先生からお贈りいただいたオワンクラゲを採取するために実際に使われた網やお嬢様が記念に作成なさったTシャツが加わり、展示内容が一層充実して参りました。平日の午前10時から午後5時まで、どなたでも自由にご覧になれます。まだの方は是非一度足を運んでみては如何でしょうか。

平成18年度からスタートした新しい6年制の教育システムが、薬剤師を目指す学生にとってより良いものとなるように、薬学部はいろいろと試みております。その中で、平成19、20年度の2年間行いました概算要求事業の「離島・僻地医療に貢献できる薬剤師の養成教育プログラム」に引き続き「在宅医療と福祉に重点化した薬学と看護学の統合教育とチーム医療総合職養成の拠点形成」と題した長崎県立大学と長崎国際大学との連携事業が文部科学省の大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラムに本

年度採択されました。本連携事業は、在宅医療や福祉に重点化した薬学と看護学の実践型融合教育システムを構築することを目標としております。さて、いよいよ本年12月からのCBTやOSCEを皮切りに、6ヶ月実習が始まります。何卒、薬学6年制教育の円滑な実施にむけて、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

昨年度、独立法人化後の各国立大学法人の中間評価が、教育、研究、業務運営、財務内容の観点から行われました。その結果、長崎大学は全ての項目で「良好である」との評価を受けました。ちなみに、全て「良好である」以上の評価を受けた大学は全国86大学の中5校しかありません。また、教育・研究に関する学部ごとの評価では、当薬学部は「水準にある」との評価を得ております。5年後に2回目の中間評価がありますが、第1回目の評価結果を踏まえ、薬学部では、教育と研究のいずれの面においてもこれまで以上に積極的に社会に発信していかなければならないと考えております。特に、創薬研究者養成を目標とする4年制の薬科学科では、来年度から新たに始まります研究者養成に特化した大学院と共に、これから最先端研究を展開して行く中で、教育を充実していかなければならないと気を引き締めております。

以上、長崎大学薬学部の現況を簡単に述べさせて頂きましたが、同窓会の皆様には、薬学部のさらなる発展に向けて、これまでと変わらず御支援・御高配を賜りますようお願い申し上げます。末筆になりましたが、皆様の益々の御発展をお祈り申し上げます。